

結核の常識

けっかくのじょうしき

2003



結核制圧に向けて、
新しい結核対策を
進めよう

結核予防週間

9/24 (水) → 9/30 (火)

「結核」って
ご存知でしたか？



行方

ホーム



かつては1年間に約10万人の死者を出す「国民病」とも言われる病気でした。現在は、医療や生活水準の向上により、きちんと治療すれば完治できるようになりました。しかし、結核は今も我が国最大の感染症です。結核から身を守るには、新しい知識と関心を持つことが重要です。

根絶していません。 我が国最大の感染症。

結核は過去の病気ではありません。

結核は、今でも1日に97人の新しい患者が発生し、6人が命を落とす油断のできない状況です。「結核」を過去の病気と錯覚していませんか？結核が忘れられていることも、根絶しない原因の一つなのです。

'99年、結核患者が38年ぶりに増加したことを受け、厚生省(現:厚生労働省)が結核緊急事態宣言を発令しています。



国内の結核の現状(平成14年度)

結核新規診断患者数(新たに結核と診断され登録された患者)	32,828人	罹患率	25.0
重症化患者数(タンブの中に結核菌が見つかった患者)	11,833人	罹患率	9.4
結核死亡数	2,316人	死亡率	1.0

※厚生労働省発表

風邪のようで風邪じゃない…それが結核です！

結核は、人から人へとうつる病気「感染症」です。自分の健康だけでなく、家族や周りの人の健康を守るためにも、これを機会に是非結核の新しい知識を身につけて下さい！！

こんな時はすぐ病院へ！



結核の治癒

薬をきちんと飲めば治ります

万一、結核になっても6ヶ月〜9ヶ月間毎日薬を飲み続ければ治癒できます。周囲の人に結核をうつす恐れのある場合は入院の必要がありますが、タンの中に菌が出なくなったら外来治療となります。反対に、不規則な服用を続けると、治癒するまでに何年も要することになります。結核菌が薬への抵抗力をつけ強力な「多剤耐性菌」となり、ほとんどの薬が効かなくなるからです。そこで、医療支援のための方式としてDOTS(ドッツ)が普及し、成果をあげています。



ドッツ DOTS 患者さんの服薬を見守ります

DOTS(直接観望確認療法)とは、患者さんが薬を飲むのを医療従事者が目の前で確認し、服薬を支援することで、現在の標準的な治療方式として大きな成果をあげています。



薬を飲む結核患者さんと医療従事者が見守っています

近年の問題

高齢者の発病増加・ハイリスク者対策

平成12年
結核が原因で死亡した人



おじいちゃん
おばあちゃん
胃をつけてな

人口の高齢化に伴って、結核患者も高齢者の割合が増加傾向にあります。若い頃結核が流行していた世代の人は、結核菌が肺の中で眠っており、体力・抵抗力が低下した時に発病するからです(原感染発病)。特に、高齢の方は、結核の症状が出ない場合もありますから、体調が悪いと思ったら早めに受診しましょう。

あなたは
大丈夫?

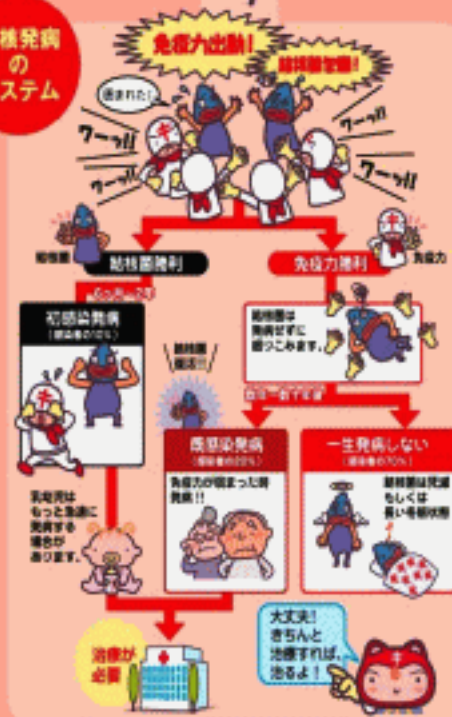
- 既往病の人
- 胃が弱くなった人
- 慢性感染症がある人
- 人工透析を受けている人
- 悪質皮膚ホルモン剤の治療を受けている人
- 最近、感染を受けた人

上記にあてはまる人は発病率が高いため、こまめに受診を受けましょう。

都市部の問題としては、住所不定者の間で結核が高率に発見されています。しかも、発見の遅れや治療の徹底が困難なことから、治療成功率の低さが問題となっており、国・地方自治体ではこういった方たちを対象とした特別な検診を実施し、対策の強化を図っております。結核予防会もこれらの検診のお手伝いを積極的に行っております。

再感染発病 — 全癒したのに発病しないはずの中で眠っていた菌が、何十年か経って、老化・薬副作用・大手前などで体力が衰えた時に再び活動を始める。

結核発病のシステム



集団感染の増加

過去5年間の統計によると、3.6%が学校で起っています。結核に感染する機会が減ってきた現在では、免疫力を持たない若者が多いため、感染すると発病する可能性が高いのです(初感染発病)。そのため、集団生活の中で、結核患者が発生すると集団感染が起こる危険が高くなっています。

初感染発病 — 感染してから半年〜2年で発病する。大量の菌を咽下した時や抵抗力が弱い時に見られ、子供や若い人に起こる。



…最大の問題は関心の低下です!



世界での蔓延

世界では、1日に25,000人の結核患者が発生、5,000人が尊い命を失っています。栄養状態が悪く保健衛生体制が整備されていない途上国を中心に結核が蔓延しているのです。HIV感染によって抵抗力が低下し、結核を発病する合併症のケースも問題となっています。「複十字シール運動」による募金は、アジアの人々の結核治療にも役立っています。



アジア諸国での地域対策の状況

さあ、世界にも手をさしのべよう!

複十字シール運動にご協力ください



結核予防会では結核のない世界をつくるため、複十字シールによる募金運動を実施しています。益金は結核予防の普及啓発活動、途上国の結核対策事業、検診車の整備等に使われています。

みなさん! よろしくお願ひします。



結核予防会のホームページにアクセスしてください。

結核に関する知識・情報を必要とする方は大いに利用してください。

<http://www.jatahq.org>



日本で暮らしている外国人の方がいたら

結核予防会「外国人結核電話相談」TEL 03-3292-1218
(毎週火曜日10:15~12:00, 13:15~15:00)



結核ってなあに？

結核菌を吸い込むことで起こる感染症です。

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核患者が咳やくしゃみをした時に、飛び散るシブキの中の結核菌を吸い込むことによって起こる(空気感染)病気です。タンの中に菌を出していない軽症の場合は、他人にうつす恐れはありません。



光学顕微鏡で見た結核菌の図1~4μm(ミクロン)

感染しても発病するとは限らない!

結核菌を吸い込んでも、身体の免疫機能により、菌が押さえつけられたまま活動しないケースがほとんどです。身体の免疫力・抵抗力が低下し、菌が活動を始めることを「発病」と言い、発病するのは、感染した人の10人に1人程度です。発病後、悪化すると臓器、リンパ節、骨、関節、血液、脳膜などに病巣をつくりまわります。

セキが出たら
マスクは常備
ですよ!



結核の検査・予防

感染・発病を知るには？

咳・タン・熱・だるさ等風邪に似た症状が2週間以上続かならば、近くの医療機関で受診しましょう。単なる風邪と自己判断せず「結核では？」と疑うことが大切です。医療機関では必要に応じて、胸部エックス線検査、タンの検査、ツベルクリン反応検査等を行ない診断します。



ツベルクリン反応検査

感染しているかを調べる検査。結核に感染すると、発病するしなないに関わらず人体の中に結核に対する免疫ができるので、この反応を見ます。また、BCG接種が適切に行われていると同じ反応を示すので、BCG接種を評価する検査としても使われます。

予防するには？

結核は過労・睡眠不足・栄養不足により抵抗力が弱まった時に発病するので、日常の健康管理が大切です。また、大人に比べると乳幼児は、髄膜炎(脳膜炎)や粟粒結核(結核菌が血管を過ぎて全身へ散らばる)など重症になる危険が高いです。しかし、BCG接種によって予防することができます。特に、生後3ヶ月~6ヶ月に接種することが理想です。



BCG接種

毒性の強い結核菌で作ったワクチンによる、結核の免疫をつけるための予防接種です。効果は15年程度持続すると言われています。

※平成15年4月から小中学生のツベルクリン反応検査、BCG接種は廃止され、現在は乳幼児にだけ行われています。小学校・中学校の全学年児童・生徒は、内科健診にあわせて結核に関する問診を実施し、必要とされる場合に精密検査を実施します。

